

## CIDP について

CIDP（慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー）とは下肢の脱力が徐々に進行し、さらにより程度は低いが腕にも進行することを特徴とする、末梢神経のまれな疾患です。CIDPはミエリンと呼ばれる神経被膜への損傷により起因し、年齢や性別に関係なく発病します。脱力は2~3ヶ月にわたって起こります。診断を支持するCIDPの特徴は以下のとおりです。

## CIDPの 診断方法

CIDP患者は通常は歩行困難の症状を示し、2~3ヶ月のうちに症状が悪化します。患者の感覚神経のミエリンが損傷している場合は、刺痛や他の異常な感覚が起こることもあります。身体検査では通常、膝蓋腱反射やアキレス腱反射などの反射の消失が見られます。神経専門医による検査では、神経伝導速度筋電図検査などの電気的診断が行われることが一般的です。検査では、電気信号の低下や伝導の遮断が観察されることもあります。脳脊髄液の分析のための脊髄穿刺では、概して、正常細胞で蛋白量の上昇が認められ、診断の確定の助けとなります。多巣性運動ニューロパチーなどの変異型CIDP患者は、一部の運動神経の筋肉への伝導が遅延されるだけの場合もあります。血液・尿検査を実施し、蛋白の分析を含め、CIDPの原因を調べる場合があります。

## CIDPの 治療方法

治療にはいくつかの方法があります。体内で通常作り出される防御的抗炎症性コルチコステロイドに似たプレドニソンは、初期治療法として、次のいくつかの理由から用いられます。プレドニソンは体力強化に役立つことが多く、経口投与で便利な上に、費用もそれほどかかりません。副作用のために使用できない場合もあります。これ以外にも、2つの治療方法が役立つことがわかっています。健康志願者から得た防御的な血液中の蛋白である免疫グロブリン大量静注療法(IVIG)は、腕静脈を通して容易に投与できます。血漿交換(PE)またはプラズマフェレーシスと呼ばれるもう1つの治療法では、患者の血液の一部が体内から取り出され、液体の血漿部分を除いた血液細胞が体内に戻されます。つまり、血漿に含まれた有害な抗体を取り除く働きがあります。CIDPの治療はある意味で芸術に近いものがあります。患者が初期治療で、ある程度の改善を示したものの、脱力が再発した場合は、治療を繰り返し実施するか、別の治療法を試みます。

## CIDPの 原因

現在の理論では、体内の免疫システムが、通常は防御の役割を果たすところが、ミエリンを異物として認識し攻撃する、とされています。このプロセスを開始させる原因は明らかではありません。患者の中には血液中に異常な蛋白量が検出される場合もあり、これにより損傷が進行することもあります。

## GBS/CIDP Foundation について

この基金は、これらの麻痺障害を患った患者を支援する目的で Robert & Estelle Benson によって 1980 年に創立されました。現在では、世界中に 150 以上の支部と関連組織を設けています。この基金は非営利ボランティア組織として、CIDP または GBS に襲われた患者やその家族に全面的なサポートを提供しています。基金の医療諮問機関には、これらの疾患において世界的に有名な専門家や、自身もこの疾患を経験した医師が名を連ねております。

## サポート情報

CIDP または関連する脱髄性疾患(多巣性運動ニューロパチーまたはモノクローナル免疫グロブリン血症等)に自分または身近な人がかかっている、支援や情報が必要な方は、基金までお問い合わせください。また、地元でサポートグループ支部を形成したり、GBS に詳しい地元の医師と連絡を取りたい場合も、基金までお問い合わせください。医療専門家の方には、基金では文献を提供したり、患者に対する精神面でのサポートを行っております。

## その他のサービス

- ニュースレター
- 一般者用の概要小冊子
- 医師の紹介リスト
- 患者用の教育シンポジウム
- 地元の支部への連絡先情報
- 研究資金提供

GBS/CIDP Foundation International は非営利 501(c)(3) 組織です。  
寄付(課税控除の対象)を頂ければ、当基金が人を助けるのに役立ちます。どうぞよろしくご願ひ致します。

# GBS/CIDP Foundation International

Guillain-Barré 症候群と  
慢性炎症性脱髄性  
多発ニューロパチー

GBS、CIDP、変異型の患者への  
サポート、教育、研究の提供

## 慢性炎症性脱髄性 多発ニューロパチー (CIDP)

詳細については、GBS/CIDP Foundation  
International までお問い合わせください。  
The Holly Building  
104 1/2 Forrest Avenue  
Narberth, PA 19072, USA  
電話: 1-610-667-0131 Fax 1-610667-7036  
www.gbsfi.com email: info@gbsfi.com

International Office  
The Holly Building  
104 1/2 Forrest Avenue  
Narberth, PA 19072, USA

GBS/CIDP Foundation International  
GBS、CIDP、変異型の患者へのサポート、教育、研究の提供  
Guillain-Barré 症候群と慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

### 名誉理事

Rachel Chagall\* Marjorie H. Downey\*  
Andy Griffith\* Joseph Heller\* #

### 理事会

William T. Gaffney Barbara Hoffman\*  
Ronald B. Kremnitzer\* Wayne D. Mitchell\*  
Marlyn Tedesco C. Walter Nichols, III\*

### 常任/準常任理事

Estelle L. Benson/Barbara Katzman

### 役員

Sara Voorhees Pessel\* 会長  
Joel S. Steinberg, MD, PhD\* 副会長  
Sue D. Baier\* 書記  
Henry Friedman\* 会計役

### 取締役会

Sue D. Baier\* Robert Benson, CLU, ChFC\*  
Patricia Bryant\* Patricia H. Blomkwist-Markens\*  
Henry Friedman\* Thelma Gifford, RN\*  
Jerry R. Jones Susan Keast\*  
Kim Koehlinger\* Harriette Lion  
Ralph G. Neas, Esq\* Glennys Sanders\*  
Sara Voorhees Pessel\* Laura E. Stegossi, Esq  
John F. Schilke, MD\* Joel Steinberg, MD, PhD\*

### 医療諮問委員会

Barry G. W. Arnason, MD  
Arthur K. Asbury, MD  
Richard J. Barohn, MD  
Mark J. Brown, MD  
Kopel Burk, MD\*  
David Cornblath, MD  
Jonathan Goldstein, MD  
Kenneth C. Gorson, MD  
Michael G. Graves, MD  
John W. Griffin, MD  
Angelika F. Hahn, MD  
Hans-Peter Hartung, MD  
Thomas L. Hedge, Jr., MD\*  
Prof. R.A.C. Hughes  
Jonathan S. Katz, MD  
Carol Lee Koski, MD  
Richard A. Lewis, MD  
Robert Lisak, MD  
Robert G. Miller, MD  
Gareth J. Parry, MD  
Allan H. Ropper, MD  
John T. Sladky, MD  
Joel Steinberg, MD, PhD\*  
Pieter A. van Doorn, MD  
Prof. Hugh J. Willison, PhD

\* GBS、CIDP の元患者

# 故人